

Taketa City Gikai News

NO.39

平成27年8月1日発行

たけた 市議会だより

- 正副議長就任ご挨拶 所属委員会等一覧 2
- 予算特別委員会 3
- 一般質問 4~10
- 第2回(6月)定例会 議決結果 11
- 市議会議長会表彰 12



とうきびフェスタ in 菅生

正副議長就任ご挨拶

市民の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、5月の臨時議会において、議員皆様のご推挙を賜り、正副議長に就任いたしました。

身に余る光栄であり、この職責の重さに、身が引き締まる思いであります。

さて、地方分権改革が行われて20年が経過しました。議会は、自治体の意思決定機関として、今まで以上に多様な民意を反映し、政策立案及び監視機能をより効果的に発揮していくことが求められています。

また、国は地方創生事業という、今までとは違った手法での税の配分補助事業を行おうとしています。

我々議会側も執行部への監視役は当然ながら、政策立案、事業提案もこれからは重要な役目になるかと考えています。

そうした中、記念すべき合併10周年を迎えた竹田市において、「何



議長
坂梨宏之進



副議長
後藤 憲幸

が必要なのか」「何が問題なのか」「何を発展させるべきなのか」を見据え、事業提案を含めた問題解決に全力で取り組む決意でございます。

もとより浅学菲才の私たちではありますが、議員一丸となり、市民皆様方の負託に応えるべく、議会運営に邁進する所存でございます。

今後とも、市民皆様方のご支援助とご理解を賜りますようお願い申し上げます。市民皆様方のご健康とご多幸をご祈念申し上げ、議長、副議長就任のご挨拶といたします。

所属常任委員会・所属委員会・所属会派 一覧

常任委員会名	委員長	副委員長	委員			
総務常任委員会	岩屋 千利	鷲司 英彰	森 哲秀	吉竹 悟	和田 幸生	坂梨宏之進
産業建設常任委員会	佐田 啓二	徳永 信二	日小田秀之	本田 忠	中村 憲史	後藤 憲幸
社会文教常任委員会	阿部 雅彦	佐藤 美樹	山村 英治	渡辺 克己	加藤 正義	足達 寛康

委員会	委員長	副委員長	委員			
議会運営委員会	日小田秀之	渡辺 克己	徳永 信二	佐田 啓二	森 哲秀	
市議会だより編集委員会	岩屋 千利	佐藤 美樹	鷲司 英彰	阿部 雅彦	佐田 啓二	日小田秀之 後藤 憲幸 坂梨宏之進

会派名	会長	副会長	事務局長	
仁政クラブ(じんせいくらぶ)	岩屋 千利	徳永 信二	佐藤 美樹	吉竹 悟
新生会(しんせいかい)	本田 忠	渡辺 克己	鷲司 英彰	
緑風会(りょくふうかい)	佐田 啓二	坂梨宏之進	中村 憲史	
新風会(しんぷうかい)	加藤 正義	森 哲秀	阿部 雅彦	和田 幸生
清風会(せいふうかい)	日小田秀之	足達 寛康	後藤 憲幸	

予算特別委員会

平成27年度一般会計補正予算 2億6,574万5千円増額

(総額187億5,574万5千円に) **可決**

平成27年第2回定例会・予算特別委員会が6月18日・25日の両日開催され、付託された一般会計予算を慎重審査した結果、全会一致で可決されました。



【補正予算の概要】

【歳出】

◆総務費

移住・定住に関する推進体制整備支援事業	441万円
建築物等解体撤去工事請負費 (旧第二庁舎)	4,332万6千円
P C B 廃棄物処理業務手数料 (旧第二庁舎)	819万8千円
コミュニティ助成事業 (添ヶ津留自治会コミュニティセンター建設補助金ほか)	810万円

◆民生費

荻福祉健康エリア施設設備等維持補修工事請負費	825万3千円
------------------------	---------

◆衛生費

宿泊型新保健指導試行事業	305万6千円
--------------	---------

◆農林業費

火山活動降灰対策事業	9,961万1千円
農地耕作条件改善事業	1,100万円
林業専用道整備事業	2,004万1千円
森林総合研究所森林農地整備センター	
幹線林道受益者負担金(繰上げ償還)	2,217万円
次世代を担う園芸産地整備事業(野菜)	△5,767万2千円

◆商工費

直入荘事業特別会計繰出金 (解体撤去工事請負費分)	8,500万円
観光施設設備等維持補修工事請負費(荻の里温泉)	505万4千円
温泉施設設備等維持補修工事請負費(花水月)	370万円

◆土木費

市道加良登今村線測量設計等委託料	500万円
中心市街地交通実態調査等業務委託料	600万円
街なみ環境整備事業補助金	3,356万6千円
旧久住水稻試験地用地購入費	925万8千円

■人件費

給料削減による職員給料改定	△8,000万5千円
---------------	------------

【歳入】

分担金・負担金	110万円
国庫支出金	2,550万1千円
県支出金	3,638万8千円
繰入金	1億5,971万9千円
財政調整基金	1億4,458万7千円
福祉振興基金	825万3千円
温泉等地域振興施設整備基金	687万9千円
諸収入	4,303万7千円

市政を問う 一般質問

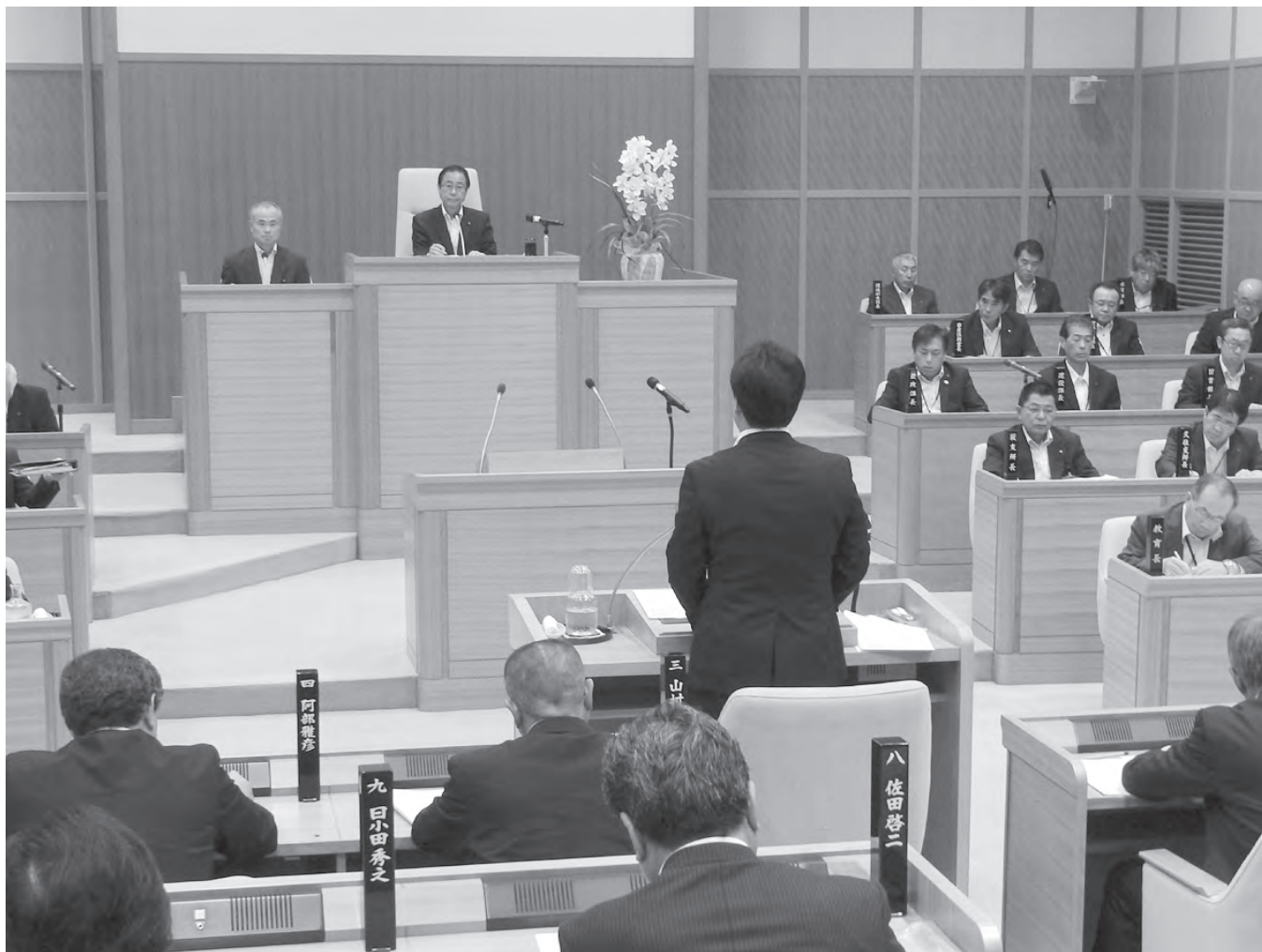
平成27年第2回定例会は6月3日から6月25日までの23日間の日程で開かれました。

6月12日・13日、9人の議員が一般質問を行いましたので、その内容を要約してお知らせします。

なお、原稿は質問議員本人が執筆しております。

一般質問

一般質問



問 昨年末に、3か月運休するとあったが未だに再開していない。会員へ状況を周知するべきではないか。

商工観光課長 平成26年10月11日より、平戸線を除く全路線の運行が休止となった。理由は、資金繰りの悪化、運転手の確保が困難となったためだ。本年1月10日の再開予定であったが、負債の支払調整がつかないことから、運休期間を本年7月から28年7月まで延期手続きをしている。

会員の問い合わせが多いため、会社には、状況説明をするように要請した。今後も状況を見守り、随時状況報告を受け、発信できるように努める。

YOKAROBASについて

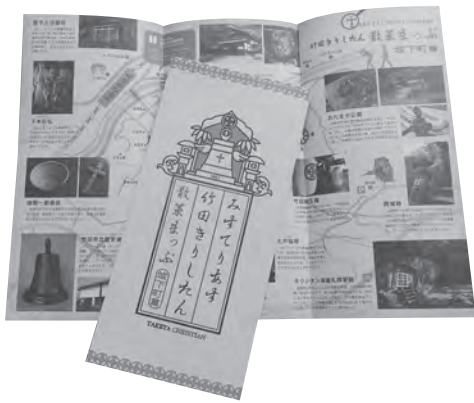


吉竹 悟

キリシタンロードマップの作成について

問 これまでのキリシタン・南蛮文化の情報発信やイベント等の効果が、現在非常によい展開を見せている。インバウンドが重要な戦略となっている。旅行代理店に商品として売り込むツールとして、オリジナルマップの作成をしようか。

商工観光課長 平成25年に開催した「竹田キリシタン南蛮化シンポジウム」以来、竹田キリシタンを目的に訪れる観光客が飛躍的に伸びている。県外のお客様の半数以上が東京、神奈川などの首都圏からの来訪であった。フェイスブックへの1回の投稿で1000人を越えるアプロー



▲作成されたキリシタン散策マップ

チが全国からある。

JRDC期間までに「キリシタンロードマップ」だけの作成も検討している。併せて英語や韓国語に対応したバージョンの作成も検討している。

市長 戦略としてインバウンドを強化することは重要である。市内でシングルユース等、宿泊していたくためのニーズに対応することが求められている。重要な案件であるので協議を重ねていく。

※フェイスブック……インターネット上で交流を行う、世界最大規模の社会的ネットワークサービス。

※インバウンド……外国人旅行者・観光客を自国へ誘致すること。

駅前平線について

問 都市計画道路駅前平線の計画は実行可能か。また、何年先なのか。

建設課長 計画当初から、社会情勢も大きく変化したことや、橋梁等を含む工事費も10億円以上と極めて大きなものとなる。国・県の動向もあり、すぐに実施に移行するのは厳しい。

この計画があるために、駅前を含めた計画区域の開発に制約がかかっている。今後、住民の合意形成を行いながら、都市計画審議会・県等と協議を進める。

このほか久住支所の利活用について質問した。

加藤 正義



地域コミュニティ活動について

問 現状、自治会活動にどんな支援があるのか。

総務課長 防犯灯の設置の助成。発電施設周辺地域の集会所の建設助成。集落内における市道の草刈に対する助成1mに付き5円。集会所の維持保守事業の助成。コミュニティ助成の集会所の建設助成。集落内の草刈事業にふるさと応援隊による支援などがある。



▲協力隊による空き家案内

問 地域おこし協力隊、集落支援員の増配置は。

企画情報課長 協力隊が持つ経験値や地域活動への意欲と、市民ニーズとのマッチングが必要。受け入れ実績も考慮して検討したい。

集落支援員は、移住予定者への予備知識や移住後のサポートなどに尽力している。組織体制やコーディネートなどの仕組みなども合わせ検討したい。

問 集落の地域コミュニティ活動を活かす支援の仕組みづくりを。

市長 高齢化が進み、消滅が危惧される規模の小さい自治会は、集落再編等によって再生を図るという道も、避けては通れない課題。

規模の大小、物差しの当て方など非常に難しいが、その手法や方法論をしっかりと研究する必要がある。今後の政策課題と受け止め、前向きに検討していく。

地域医療の充実について

問 医師会病院に第二次救急医療の再開の展望は。

保険健康課長 市医師会、県医療生活課、保健所、市消防本部などと協議を重ねている。今後も第二次救急体制確立に向け協議を継続する。

問 耳鼻咽喉科の誘致の見通しは。

市長 竹田市出身で現在県病の耳鼻咽喉科部長の須小毅先生が来年4月1日開業ということで確約できていることをここに報告したい。

問 中学卒業まで通院にかかる医療費の無償化を。

市長 予算措置として、2000万円から2500万円程度予想されるが、こどもたちの健やかな成長と竹田市は「子育て一番宣言」を掲げているので、先導的な取組として、予算の検討を行い、実施のこととしたい。

阿部 雅彦



玉来ダムについて

問 ダム建設の用地交渉や予算獲得及び工事の進捗状況をどのように把握しているか。

建設課長 用地の取得は、地元の方々のご協力で90%を超えており、さら今年度の予算については、10億3千万円となつている。工事の状況は、現在、河川の流れを変えるための転流トンネル及び工事用道路の工事に着手しているところである。

問 大幅な予算獲得に向けた今後の取組は。

市長 これまでも機会あるごとに国へ要請をしてきたが、今後も市民の生命がかかっている重要案件だけに継続して取り組みたい。

問 ダム建設を通じた地元経済活性化

化策や上流から下流域までの地域振興策は。

建設課長 市内業者による工事の受注や市内小売業者からの工事資材・燃料・食品等の購入を積極的に要請したい。また、地元からの地域振興の要望には、丁寧に対処したい。



移住・定住の政策と学校統廃合について

問 経済的効率を優先させると、統廃合が求められる状況にあるが、今後地域住民と一体となった学校統廃合を防ぐ取組をどのように進めるのか。

学校教育課長 今、各学校で取り組む「地域学」を充実・深化させ、子ども達には自分の生まれたところの素晴らしさを学ぶことによつて、自分に自信を持たせ、故郷を愛する心情を育てる。これにより地域の方々の方々の誇りも生み、その学校でしかできない教育実践に繋げる。これらの施策が移住定住を希望する方々の一つの判断材料になり得ると考える。

市長 現在の学校統廃合に関する姿勢は「何もしなければ統廃合やむなし」である。そこで打ち出した政策が農村回帰の取組であり、ニュータウン構想による宅地造成や企業誘致である。あと5年くらいはしっかりと取り組めば、必ず展望は開けると考えている。

その他「城下町における無電柱化事業」と「南山荘跡地の活用」について質問した。



▲味噌づくり体験(直入小)

山村 英治



社会福祉施策について

問 90歳以上の独居世帯、夫婦世帯の現状数と今後の推移は。

高年齢福祉課長 平成27年5月31日現在の住民基本台帳によると、独居数411世帯と17夫婦世帯34名合わせて445名いる。平成37年には、1692名になる見込みだ。

問 平成27年4月1日現在、竹田市の65歳の高齢化率は43・6%、県下で一番進んでいる。どれだけの高齢者が救急搬送されているか。

消防長 平成26年1月から一年間に、病院から病院に転院搬送を除いて、1064人を搬送した。その内65歳以上は758人、75歳以上は579人、搬送した。

問 竹田市で通院や買出し支援バス

を運行する計画はないか。

副市長 介護保険制度では、地域に生活支援コーディネーターを置き、外出支援、食材配達などの支援を考えている。

地方創生における国の総合戦略にも「小さな拠点」の形成が盛り込まれている。地域住民の立場に立った手法を検討していきたい。

問 竹田市の進めるまちづくり、高齢者対策をどのように位置づけているか。

高年齢福祉課長 介護保険制度ではサービス付高齢者住宅が考えられるが、地域包括ケアシステムでは、在宅で安心した暮らしを支えるために、ボランティア、NPO、社会福祉法人、協同組合等による多様で重層的な生活支援、サービスの提供をしていく。

市長 コンパクトシティ構想では、高齢者がまちなかに移り住むことで、



見守りや訪問など利便性は認めている。移住・定住を進める農村回帰の施策と併せて、該当する高齢者所有の住宅整備、農地・山林の譲渡や貸付についても調整をしていく。現在、住環境の実態調査を進めている。

問 りんどう、ゆのはな、しらみず、あけぼの等のボランティア組織への支援は。

高年齢福祉課長 国や福祉財団と一体となった施策を進めていく。

岩屋 千利



ふるさと納税制度の有効活用について

問 ふるさと納税制度の取組の状況と今後の対策は。

企画情報課長 本年度からのインターネットのサイトを活用した取組と併

陽目の里名水茶屋の観光戦略について

問 名水茶屋近くの山中に22柱のキリシタン墓を確認した。観光戦略に据えられないか。

商工観光課長 関係機関にも調査を依頼して、確かなものであれば戦略的に進める。

ウェイクケーブルパーク事業の取組について

問 ウェイクケーブル施設の設置に伴い、同施設に通ずる未改良の市道湯ノ原・仲村線の整備促進は。

建設課長 本年度竹田市道路整備基準を策定した。今後は整備基準を参

照に事業評価し、公共施設整備計画に搭載する等計画的に整備していく。尚、質問の湯ノ原・仲村線は用地買収等の予算を補正計上している。

問 長湯ダムにおける既存の事業と今回の事業との併用、同時使用は可能か、その場合接触事故等の対策は。

直入支所長 ウェイクケープル事業はマスト、浮き桟橋を設置し、ダムの中央から下流の区域を使用する。B & G等のカヌーやボートは、その上流部を使用するので支障はない。接触事故等の対策としてはロープやマークブイの設置を義務づけている。

問 ダムの北側は絶景広大な市有地、高台は日本一のしだれの里創り事業、今回の取組を機にこういった各種事業と呼応した地域振興策は。

直入支所長 ダム北側市有地はギャラリースタンドや商工会、飲食店組合の店舗等が考えられる。尚、ご指摘のようにダムの南西側の高台には、日本一のしだれの里を創る会が既に1700本の桜の植え付けを終えている事等、現下の状況下から、ダム周辺を一体的なエリアとして地域振興を図ることができればと考えている。

市道中央線の整備促進について

問 県都大分市からの一方の玄関口、市道中央線の整備促進は。

建設課長 当該路線は社会資本総合交付金による整備計画を立てたが、補助金の減額で不可能となった。次年度以降も総合交付金事業で対処する。

佐田 啓一



DESTINATIONキャンペーン(DC)の取組について

問 DCのこれまでの取組は。

商工観光課長 DCの大分県開催は20年振り、7月〜9月までの3か月間、市は、関係団体で編成した「竹田市観光戦略会議」で議論を重ね、戦略的な取組を進めてきた。

問 期間中、竹田市の計画は。

商工観光課長 岡城登城バス、大船山登山バスの運行。ケーブルウェイイクボード施設、岡城大手門のライトアップ、久住高原スターウォッチング、大分駅発着長湯温泉・久住高原周遊観光バスの運行、竹田式湯治体験イベント、TAOの夏フェス2015、くじゅう花公園夏のイベントなど種々計画している。

問 事業効果と今後の戦略は。

商工観光課長 JRグループが使った広告宣伝費は大分県全体で25億円、8月は岡城のポスターが全国の駅に。車内貼りポスターに長湯温泉が掲載される。さらにテレビ、雑誌で7月から3か月間集中的に宣伝される。市としては2億5千万円以上の経済効果を見込む。今後はDCで繋がったパイプを活かし、持続的・長期的な各種戦略を講じていく。

岡城跡の整備と活用について

問 登城バスの運行計画は。

文化財課長 7月1日から土、日、祝

日の10時〜17時の間、40分おきの往來を計画。高齢者や体の不自由な方が対象、乗車賃は無料。

問 伐開の計画は。

文化財課長 昨年は大手門周辺部を伐開した。石垣が周囲から見え、雄大な「岡城跡」を知ってもらうために伐開による環境整備を継続する。

問 便益施設の整備計画は。

文化財課長 国の補助で本年度、二の丸に便益施設を建設予定。ガイダンスセンターは引き続き協議。

問 岡城跡と城下町の連携は。

商工観光課長 DC期間中は「城下町周遊バス」を走らせ登城バスと連携させる、城下町を散策したくなるコンテンツ作りなどを進める。



▲伐開後の岡城跡ライトアップ



市民提案型地域活力創造事業について

問 今年度の市民提案型地域活力創造事業の応募内容と審査結果は。

企画情報課長 先哲 顕彰や健康づくり、観光に関する事業など13団体が応募。9団体を採択し、認定書を交付した。

問 昨年度の採択事業の執行状況は。

企画情報課長 実績報告書で各団体の執行状況を確認した。実績報告の時期が揃わず、予定していた報告会ができなかった。

問 制度の改善点として、予算執行期間の延長と採択事業実施結果の公開を求めるがいかがか。

企画情報課長 予算執行期間延長は、地方自治法の規定によりできない。事業報告の公開については行う。

子育て支援について

問 児童公園整備の要望が多い。二丁の把握はできているか。

社会福祉課長 本年3月に「竹田すこやか支援計画」を策定した。策定にあたり小学生・未就学児童の保護者対象のアンケートを実施したところ、子どもの遊び場や公園を求める意見が上がった。



問 児童公園の候補地として、寄り付きのよい文化会館周辺を検討できないか。また、そうぞうの丘のアスレチック再生ができないか。

社会福祉課長 文化会館周辺整備と併せ、基本計画の中で協議していく。そうぞうの丘のアスレチックは地理や費用の面で課題が多い。

問 子育て世代の市民で公園を考えるプロジェクトを企画できないか。

市長 若い世代を巻き込み、進めたい。

問 市立こども診療所の場所について、水害の不安が残る。安全な場所へ移転するべき。診療所特別会計による運営基金の積立てができている。これを移転に活用できないか。

市長 移転の計画はある。時期・場所などしっかりと議論し、進めたい。その他、ユネスコエコパークについて質問した。



二次救急医療体制について

問 昨年12月以降の二次救急医療体制について、その後の進捗状況はどうか。

保険健康課長 本年2月に、県の担当課・医師会・市内の医療機関・市消防本部・豊肥保健所等と協議した。7月にも関係機関と協議する予定

である。
問 体制作りが進まないのは、具体的な計画が不足しているからではないか。

保険健康課長 市内に、二次救急医療体制の受け入れを希望する医療機関がある。可能かどうか聞き取り等を進め、具体的にどう進めていくか。財政的な支援も必要であるため、県の医療担当課や豊肥保健所等と協議しながら対応していく。

問 中期的な財政収支の試算において、平成30年までの投資的経費の中で、教育にかかる費用の推移はどうか。

財政課長 投資的経費は、毎年15億円規模を予定しており、教育に関する費用はこの中に含まれている。平成25年には菅生小学校の改修に約990万円、26年には竹田中学校のプールの改修に約2200万円、28年には豊岡小学校の改修に約260万円、そして本年城原小学校の改修に約4100万円が予定されている。

問 小規模校の利点と欠点は何か。

学校教育課長 市内には小規模・過小規模校しかない。利点は、共通認識のもと学校全体の一体感が得やすく

なる。また、保護者と地域社会との連携が深まる。子供がいつも気にかけてもらっている、大切にされていることを実感できる、などが挙げられる。それらの事から、子供の自己肯定感や自己有用感を育てることが出来る。欠点は、集団の中で多様な考え方に触れる機会が少なくなるため体育など集団活動に制約が生じる、などがある。

問 教育における費用対効果をどう考えるか。

教育長 教育の本来の意味は人格の形成にある。教育の効果を図る座標軸があるわけではないため、一概に図ることは出来ない。そのため教育に市場原理主義はそぐわない場合もある。



▲協同学習の様子(竹田中)

渡辺 克己



市の財政について

問 交付税の合併算定替期間が28年から始まるが、5か年の減額と一本算定となる33年度の交付税額はいくらか。

財政課長 示されているものの7割が復元見直しの予定。37億円減額予定が11億円程度になる。33年度は75億円程度(26年見込み89億円)。

問 中期的な財政収支の試算(26〜30年)では、投資的経費の減額で収支が図られている。このことによる市民生活への影響は。

財政課長 道路・水道等のインフラ整備に影響がある。

問 28年度以降、実質収支は赤字で、財政調整基金の減額幅が大きくなる。33年度同基金が16億円と半減となる。

この対応について聞く。

財政課長 国からの予算獲得と着実な行財政改革を行っていく。地方創生予算獲得に向け、政策提案を行っていく。

普通交付税の算定方法特例(合併算定替)

年 度	算 定 内 容
平成17年度 ～平成27年度	合併算定替(合併前市町村ごとに算定した財源不足額)の全額を保障
平成28年度	合併算定替の9割を保障(1割削減)
平成29年度	合併算定替の7割を保障(3割削減)
平成30年度	合併算定替の5割を保障(5割削減)
平成31年度	合併算定替の3割を保障(7割削減)
平成32年度	合併算定替の1割を保障(9割削減)
平成33年度	合併算定替の保障がなくなる(一本算定)

※合併算定替の額は、年度ごとに交付される普通交付税の算定内容により変動する。

国民宿舎「直入荘」建設について

問 今回直入荘の取壊し予算が計上されている。議会の「主要公共施設調査特別委員会」では新築計画に慎重論が強い。なぜこの時期、新築前提の取壊し予算の計上か。

市長 情勢が大きく変わっている。新築の可能性は総務省との協議において採択されている。温泉を取り巻く環境は大きく変化している。塩崎厚生労働大臣へ温泉利用型の健康増進施設(クワハウス)の規制緩和を要請したが、施

設の統合によってそれが実現する方向性が示された。認定されれば温泉療養は、療養に要した経費から、交通費までもが医療費控除対象となる可能性もある。また、新たに選出した「直入荘あり方検討委員会」においても新築に強い賛成をいただいている。使えなくなつた古い施設を取り壊す時期と判断した。**問** 二度の入札不落札により、改修から改築(新築)に大きく方向が変わつた。試算すると入札金額と予定価格の差があまりに大き過ぎたのでは。効果として営業2年目の収益が30年間継続するとしているが、乱暴な試算と思える。

市長 財政的リスクを、長期間予測することは不可能である。

問 民営化で行う法律PFI法があるがこれを活用すべきでは。

市長 市が投入する財政資金、また経営状況に不安を抱かずに、地域振興との接点は見失わないという運営方法を条件にした方法論というものを、提案させていただきたい。

※PFI…公共施設の設計、建設、維持管理、運営等に、民間の資金とノウハウを活用し、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図るという手法。

平成27年 第2回定例会

平成27年6月3日～25日
議案・請願・陳情の議決結果

議決結果

条 例 案		
議案番号	件 名	結 果
議案第 78号	竹田市水力発電施設周辺地域等集会所条例の一部改正について	可 決
議案第 79号	竹田市企業の育成及び誘致促進に関する条例の制定について	可 決
議案第 80号	竹田市若者定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の制定について	可 決
議案第 81号	竹田市分担金徴収条例の一部改正について	可 決
議案第 82号	竹田市特別用途地区内における建築物の建築の制限に関する条例の制定について	可 決
議案第 83号	竹田市久住さやか設置及び管理に関する条例の一部改正について	可 決
議案第 84号	竹田市ウェイクケーブルパーク施設設置条例の制定について	可 決
予 算 案		
議案番号	件 名	結 果
議案第 69号	平成27年度竹田市一般会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第 70号	平成27年度竹田市長湯温泉療養文化館特別会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第 71号	平成27年度竹田市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第 72号	平成27年度竹田市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第 73号	平成27年度竹田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第 74号	平成27年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第 75号	平成27年度竹田市国民宿舎直入荘事業特別会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第 76号	平成27年度竹田市水道事業会計補正予算(第1号)について	可 決
一 般 案		
議案番号	件 名	結 果
議案第 77号	竹田市教育委員会委員の任命について	同 意
議案第 85号	竹田市ウェイクケーブルパーク施設の指定管理者の指定について	可 決
議案第 86号	市道路線の廃止について	可 決
議案第 87号	市道路線の認定について	可 決
議案第 88号	動産の買入れについて	可 決
請願・意見書案		
議案番号	件 名	結 果
請願第 1号	義務教育費国庫負担制度2分の1復元に関する意見書の提出を求める請願	採 択
請願第 2号	市道木原線拡幅改良工事の請願	採 択
意見書案第1号	義務教育費国庫負担制度2分の1復元に関する意見書	可 決

賛否一覧表

※賛成・反対の双方あった場合のみ表示しています。

議案番号・件名		議員名(議席番号順)														審議結果				
		佐藤美樹	鷲司英彰	山村英治	阿部雅彦	渡辺克己	岩屋千利	徳永信二	佐田啓二	日小田秀之	森哲秀	加藤正義	吉竹悟	本田忠	中村憲史		和田幸生	後藤憲幸	足達寛康	坂梨宏之進
陳情第 2号	「安全保障関連法案」の廃案を求める陳情	●	●	●	○	●	●	●	○	○	●	○	●	●	○	●	○	○		不採択
附帯決議案第1号	議案第75号 平成27年度竹田市国民宿舎直入荘事業特別会計補正予算(第1号)に対する附帯決議	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	●	○	○		可決
附帯決議案第2号	議案第69号 平成27年度竹田市一般会計補正予算(第1号)に対する附帯決議	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	●	○	○		可決

※議長は表決に参加しないため、表決結果は空欄

表の見方……○:賛成、●:反対、-:除斥、欠席もしくは棄権



岡城跡『登城バス』 運行開始



乗車料◆無料
運行日◆春・秋の観光シーズン
以外は土・日・祝日のみ
身体の不自由な方や高齢者など
を対象に、岡城駐車場から本丸東
側の東中仕切りまでを往復する「登
城バス」の運行が始まりました。
運行日◆春・秋の観光シーズン
以外は土・日・祝日のみ

暑中お見舞い申し上げます

公職選挙法の趣旨に基づき、暑中見舞いなどの挨拶状を
廃止させていただいております。
また、本年度初盆を迎えられるご親族へのお供物等に
つきましても失礼させていただきます。
新仏のご冥福をお祈りいたします。

竹田市議会

九州市議会議長会・全国市議会議長会表彰

去る6月4日に開催された第90回九州市議会議長会定期総会において、
中村憲史議員が、九州市議会議長会理事としての功績に対し、感謝状を
授与されました。また、6月17日に開催された第91回全国市議会議長会
定期総会において、吉竹悟議員が副議長として4年間、徳永信二議員、
佐田啓二議員、日小田秀之議員が市議会議員として10年間にわたり、市
政の振興に貢献した功績により表彰されました。



(上段左から)
徳永 信二議員 日小田秀之議員 佐田 啓二議員
(下段左から)
中村 憲史議員 吉竹 悟議員

市議会ホームページ



本議会の会議録や議会の日程、質
問項目、議会のしくみと役割など
様々な情報を掲載しています。

竹田市議会 検索 <http://www.city.taketa.oita.jp/gikai/>

議会だより編集委員になり3年目。
定例会が終わると、議会だより作成に
取り掛かる。質問を行った議員は各自、
自分の質問と執行部答弁を要約、編集
委員でチェックを行う。その他、常任委
員会の視察研修報告や、市民との意見
交換会の開催予定などを掲載している。
前々回号から予算特別委員会報告の
書き方を簡潔に箇条書きに変えた。こ
覧になった方から見やすくなったと感
想をいただいた。市議会の動きをより
わかりやすく伝えていきたい。

編集副委員長 佐藤 美樹